

項目別の自己評価表(専門学校)

1. 学校の教育目標

服装に関する知識と技術を修得して、実社会に役立つ人間を育成すること。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

目標: ①生徒・学生の増加(前年から継続)②学生の状況把握とサポートの充実③教務・事務の合理化

計画: ①WEB上での学校案内と学校訪問の工夫、連鎖校との連携による募集の地域的範囲の拡充、体験入学のブラッシュアップ

②教員増員によるカリキュラムの拡充、授業実施方法の改善、各種アンケートの実施による個別ニーズへの対応

③会議による教務・事務の連携強化、入試制度の刷新による業務効率化

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1). 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・学校の理念・目的・育人人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4 3 2 1
・学校における職業教育の特色はあるか	4 3 2 1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 3 2 1
・学校の理念・目的・育人人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4 3 2 1
・各学科の教育目標、育人人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4 3 2 1

①課題

変遷する業界ニーズに対応するスキルも重要ではあるが、職業人としての根本となる基礎技術の習得をおろそかにしないよう、バランスのとれたカリキュラムを継続的に模索している。

②今後の改善方策

ソーイングの実習を重視する従来のカリキュラムをベースに、周辺項目についても幅広い視野を持てるよう指導する。企業との連携は継続して行い、服飾実務への関心も維持できるよう工夫を続ける。

③特記事項

体験入学などの機会を通じ、上記のような基礎重視の姿勢を、入学前から入学希望者や保護者に意識して伝えることができた。その結果、入学前のイメージと実際が違って学生が戸惑うようなこともなく、新入生も入学直後からスムーズに授業に取り組むことができている。

(2).学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4 3 2 1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4 3 2 1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4 3 2 1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4 3 2 1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4 3 2 1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 3 2 1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4 3 2 1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 3 2 1

①課題

意思決定の簡素化・スピードアップ(前年度より継続)

②今後の改善方策

意思決定過程については職員会議の回数や手法の工夫により今後も改善を重ねていく必要がある。

③特記事項

WEB サイトや進学ポータルサイト利用による学生募集は一定の成果が現れつつある。業務の IT 化により行政庁とのやりとりは迅速・正確に行えるようになった。

(3).教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4 3 2 1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4 3 2 1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 3 2 1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4 3 2 1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 3 2 1
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4 3 2 1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4 3 2 1

・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	2	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	2	1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1

①課題

基礎を重視する伝統的校風を損なうことなく最新の職業実践教育を取り入れる方法を模索中である。インターン等の課外活動については、参加者ありきなので、学生のモチベーションを高める工夫も必要となる。

②今後の改善方策

企業人材の意見を取り入れた教育課程の再編成が急務。

③特記事項

インターンや職場見学などは折に触れ実施している。今後、カリキュラムの一部としてより体系的な位置づけをしたい。資格取得に関しては、教員が手厚く指導し積極的に取り組んでいる。

(4). 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・就職率の向上が図られているか	4	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
・退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4	3	2	1

①課題

卒業生の進路把握については留学生については、帰国後の進路の把握が難しい。ただし、教員の個別努力により、以前よりも高い割合で具体的に把握できるようになってきている。

②今後の改善方策

卒業後のキャリアを追跡できるようアンケートなどの体制を整え、一定のデータが蓄積された時点でカリキュラム改善の資料とする。

③特記事項

進路相談を含めた学生サポートは推進しているが、少人数のため、就職率の向上という形では現れにくい。就職率の数字にとらわれず、進学も含め本人の希望を最大限に尊重した進路指導を目指している。

(5). 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4 3 2 1
・学生相談に関する体制は整備されているか	4 3 2 1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4 3 2 1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4 3 2 1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 3 2 1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4 3 2 1
・保護者と適切に連携しているか	4 3 2 1
・卒業生への支援体制はあるか	4 3 2 1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 3 2 1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 3 2 1

①課題

経済的な問題で、学業に専念できない学生が出ることのないよう、独自のサポート体制の設置が望まれる。

②今後の改善方策

優秀な学生について、独自の奨学金制度または納付金減免制度の導入を検討。

③特記事項

小規模校のメリットに加え各担任の努力もあって学生・保護者との意思疎通は緊密にできている。保護者への各種連携・連絡は可能な限り詳細な文書をもって行うよう努め、信用を得られている。

また、社会人ニーズについては、服装科は昼間授業のみであるが、別科服装専科(社会人コース)で社会人を受け入れている。問合せも多く実際に受講生も順調に増加しており、内容も好評を得ており、地域社会への貢献について手応えを感じている。

(6). 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
------	---------------------------

・ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
・ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
・ 防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

①課題

設備の老朽化

②今後の改善方策

優先順位をつけ、予算の範囲内で随時、購入・刷新中である。

③特記事項

生徒・学生の増加に伴い新型ミシンの購入など、折に触れ設備を拡充している。

また、当該年度中に、防災・不審者対応マニュアルの刷新を行った。

(7). 学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・ 学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2	1
・ 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1
・ 学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1

①課題

募集に関わる人員の不足もあり、学校訪問先が限られてしまう。

②今後の改善方策

今年度開始した、文化服装学院連鎖校パンフレットのさらなる活用による、募集対象の地域的拡大。

③特記事項

WEBによる学生募集の効果が現れており、質・量ともに手応えを感じている。同時に、体験入学や学校訪問などリアルなコミュニケーションで学校の雰囲気伝える努力も行っている。ありのままの学校を気に入ってくれた学生が入学を希望してくれる状況が作れている。今後も一層の周知に努め、学生数増加を目指す。

(8). 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
------	---------------------------	--	--	--

・ 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
・ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
・ 財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
・ 財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

①課題

収支計画の見通しを明確にする

②今後の改善方策

広告宣伝費などの見直し

③特記事項

学生数の継続的増加により、以前に比べ財政的には安定している。

(9). 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・ 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1
・ 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
・ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	3	2	1
・ 自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1

①課題

自己評価の公開はできているが、より体系的に PDCA サイクルに取り込む体制を整えたい。

②今後の改善方策

評価項目ごとに改善担当者を決めて年度途中、年度末に振り返りの機会を設ける。

学校関係者評価などより公正・透明な評価方法も早期に実施したい。

③特記事項

法令順守については教職員の意識づけが以前に増して浸透している。

データ漏えい対策として、最新のセキュリティ対策ソフトを導入した。

(10). 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 3 2 1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 3 2 1
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4 3 2 1

①課題

経済的に必ずしも恵まれているとは限らず、自分自身の生活に手一杯の学生も多い。

②今後の改善方策

学生に無理な負担のかからない範囲で、ボランティア情報などの紹介を充実させるべく努める。

③特記事項

(11). 国際交流

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4 3 2 1
・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4 3 2 1
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4 3 2 1
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4 3 2 1

①課題

在籍管理業務の簡素化

②今後の改善方策

本年度は、留学生の学費分割納入制度の導入により、学費事務が簡素化され納入遅延事例が減少した。分割納入時期などの工夫により、より一層の合理化を図りたい。

③特記事項

本年度は東南アジアからの初めての留学生受け入れ開始で戸惑いもあったが、文化や国民性の違いを把握し積極的に対応することができつつあり、留学生本人に加え教職員・日本人学生にとっても良い成長の機会となっている。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

前年度において改善のみられた業務効率化、WEB 活用による学生増加などは引き続き力を入れていく。併せて今後は、カリキュラムのブラッシュアップや実務企業との連携などといった、質的側面での向上を早期に実現することが課題となる。

項目別の自己評価表(高等専修学校)

1. 学校の教育目標

服装に関する知識と技術を修得して、実社会に役立つ人間を育成すること。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

目標: ①生徒・学生の増加(前年から継続)②学生の状況把握とサポートの充実③教務・事務の合理化

計画: ①WEB上での学校案内と学校訪問の工夫、連鎖校との連携による募集の地域的範囲の拡充、体験入学ブラッシュアップ

②教員増員によるカリキュラムの拡充、授業実施方法の改善、各種アンケートの実施による個別ニーズへの対応

③会議による教務・事務の連携強化、入試制度の刷新による業務効率化

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1). 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4 3 2 1
・学校における職業教育の特色は何か	4 3 2 1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 3 2 1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4 3 2 1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4 3 2 1

①課題

社会貢献人材の育成という学校としての目的と、生徒の希望する進路の尊重とを両立させること。

②今後の改善方策

社会で必要とされる人材について実務業界からのヒアリングをより一層強化し、教職員間で共有したうえ、生徒への意識づけまでを行う必要がある。

③特記事項

(2). 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4 3 2 1

・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3	2	1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	3	2	1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	3	2	1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	3	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1

①課題

IT化による業務効率化、意思決定の簡素化・スピードアップ(前年度より継続)

②今後の改善方策

IT化は順調に進んでおり、行政庁とのやりとりなど今後よりいっそうの効率化が期待できる。意思決定過程については会議の頻度や手法の見直しを継続して行っていく。

③特記事項

前年度に引き続き、業務の大幅な効率化が進んでおり、そのメリットは業務透明性の向上や処理時間の短縮という形で、生徒・保護者をはじめとする関係者へも還元できている。

(3). 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3	2	1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3	2	1
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1

・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	2	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力 育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	2	1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1

①課題

基礎を重視する伝統的校風を損なうことなく最新の職業実践教育を取り入れる方法を模索中である。

②今後の改善方策

企業人材の意見を取り入れた教育課程の再編成が急務。

③特記事項

インターンや職場見学などは折に触れ実施している。今後、カリキュラムの一部としてより体系的な位置づけをしたい。資格取得に関しては、教員が手厚く指導し積極的に取り組んでいる。

(4). 生徒指導等

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・基本的な生活習慣の確立のため取組が行われているか	4	3	2	1
・生徒の安全管理のための取組等(災害共済保険、スクールカウンセラー、発達障がいのある生徒等への支援など)が行われているか	4	3	2	1
・生徒・保護者からの相談体制が整備されているか	4	3	2	1
・進学・就職指導にかかる支援体制は整備されているか	4	3	2	1

①課題

進学・就職について、従来の個別対応的手法から、ある程度システム化した手法への移行が必要。生徒の意向を尊重しながら、学校として生徒の将来に有益な指導をすることが課題である。

②今後の改善方策

生徒の意思決定の助けとなるような就職・進学情報の提供を、より一層充実させる必要がある。

③特記事項

基本的な生活習慣の確立は、担任の指導により十分達成されている。また、教室の美化にも生徒ら自らが積極的に取り組んでいる。

(5) . 特別活動等

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・ クラブ活動等特別活動を奨励、支援しているか	4 3 <u>2</u> 1
・ 保護者会等と連携した活動を推進しているか	4 <u>3</u> 2 1

①課題

②今後の改善方策

③特記事項

クラブ活動はないが、親睦行事や校外学習等、バリエーション豊かな教育活動を行うことは心がけている。組織としての保護者会はないが、保護者との連絡は個別的かつ緊密に行っている。

(6) . 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・ 進学率や就職率の向上が図られているか	4 <u>3</u> 2 1
・ 資格取得率の向上が図られているか	4 <u>3</u> 2 1
・ 退学率の低減が図られているか	4 <u>3</u> 2 1
・ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 <u>3</u> 2 1
・ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4 <u>3</u> 2 1

①課題

②今後の改善方策

③特記事項

退学率の低減について。三者面談の充実、担任のこまかな連絡により、成果が出ている。新入生に関しては入学当時からの指導により問題なく通学できており、今後も退学率は限りなく減少していくことが見込まれる。

(7). 生徒支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・ 生徒に対する経済的な支援体制は整備されているか	<u>4</u> 3 2 1
・ 生徒の健康管理を担う組織体制はあるか	4 <u>3</u> 2 1

・ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・ 生徒の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1
・ 保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1
・ 卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1
・ 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1
・ 専門学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	2	1

①課題

進学希望者が多く、生徒にとってもキャリア・職業教育を目の前のこととして考えにくい現状がある。

②今後の改善方策

長期的なビジョンを持ちやすいよう、キャリア教育をよりいっそう工夫する必要がある。外部研修なども利用しながら教職員の指導スキルも向上させていく。

③特記事項

公的な支援が充実し、保護者の経済的な負担は非常に少なく済むようになった。

(8) . 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
・ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
・ 防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

①課題

設備の老朽化

②今後の改善方策

優先順位をつけ、予算の範囲内で随時、購入・刷新中である。

③特記事項

防災・防犯マニュアルについて担当者が適宜見直している。

(9) . 生徒の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・生徒募集活動は、適正に行われているか	4 3 2 1
・生徒募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 3 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	4 3 2 1

①課題

募集に関わる人員の不足

②今後の改善方策

郵送、WEBの活用。

③特記事項

今年度は中学校の進路指導担当教員への説明を工夫することにより、高等専修学校としての魅力を伝えることができた。郵送、WEBの活用とともに、対面での学校説明や体験入学で実習の楽しさを伝えることを重視している。

(10) . 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 3 2 1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 3 2 1
・財務について会計監査が適正に行われているか	4 3 2 1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4 3 2 1

①課題

財政情報の公開が急務である。

②今後の改善方策

HPの改訂により、公開が容易になったので、担当職員を増員し早期に取り組む。

③特記事項

学生数の増加により、前年に比して財政的には安定した。今後はその継続維持が課題となる。

(11). 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4 3 2 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 3 2 1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 3 2 1
・自己評価結果を公開しているか	4 3 2 1

①課題

コンプライアンスの意識強化。

②今後の改善方策

③特記事項

最新のウイルス対策を新たに導入した。

(12). 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 3 2 1
・生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 3 2 1
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4 3 2 1

①課題

ボランティアなどは、情報告知はしているが、生徒が積極的に参加するには至っていない。

②今後の改善方策

生活指導の一環として社会貢献活動の意義などを説いていく。

③特記事項

地域社会への貢献として、社会人コースが非常に好評である。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

前年度の学校評価を踏まえ、HP改訂と進学情報サイトの利用・中学校訪問の強化により問合せや体験入学の参加者数は着実に増えている。中学校への学校案内により、進路指導の先生からの理解も深まっていると実感している。

教育内容については、専修学校高等課程ならではの実践的な職業教育をどのように行っていくかが今後の課題と考える。現役の生徒においては進学希望者が多いが、就職・進学を問わず将来的な支えとなるようなキャリア観を育成すべく、教職員の研鑽も行う。ひきつづき、生徒が楽しみながら実習に取り組み技術を身につけられるようなカリキュラムを模索していきたい。